

□ アーバンデザインセンターすみだ活動促進事業



アーバンデザインセンターすみだ
URBAN DESIGN CENTER SUMIDA

東京23区で唯一大学のなかった墨田区では、積年の悲願であった大学誘致が実現し、文花地区に2つの大学が開学・開設した。これを契機に、公民学連携のプラットフォーム「UDCすみだ」を設立し、将来ビジョンの検討や都市空間のデザインマネジメントのハード面、まちづくりの担い手育成等のソフト面、双方のアプローチから、大学の知見を活用した地域課題の解決を目指す「大学のあるまちづくり」を推進する。

■ 概要

区市町村名	墨田区
まちづくり プロデューサー	アーバンデザインセンターすみだ (UDCすみだ)
行政の関わり	UDCすみだは、墨田区・千葉大学・ iU 情報経営イノベーション専門職大 学・区内関係団体で構成される公民学 連携組織。墨田区が事務局を務め、 「大学のあるまちづくり」を推進。
連携先	国立大学法人千葉大学 iU 情報経営イノベーション専門職大学
対象エリア	墨田区文花・京島地区（文花一丁目の キャンパスエリアを拠点）

■ 本年度の取組内容

- ・事業の機運醸成に向けた取組
千葉大学墨田サテライトキャンパスの未利用地等を活用した空き家空き地の活用促進の取組を実施
- ・エリアビジョンをふまえた企画調整
定期的な「UDCすみだ定例会」の開催による情報共有、地域への発信機能とした「地域開放スペース」の運営
- ・その他推進に係る取組
公民学連携による地域向けイベント事業の開催による普及啓発の実施

■ 本年度の成果

・キャンパスファームの整備
⇒千葉大学墨田サテライトキャンパスの未利用地を、利活用のモデルケースとして、千葉大学の園芸の知見を取り入れた「キャンパスファーム」に整備した。「キャンパスファーム」は、花壇やミニ農園として活用し、野菜の種苗を植えるワークショップには多くの親子が参加するなど、地域の交流の場となっている。



・文花・京島地域のまち歩きツアー
⇒密集市街地である特徴をとらえた街中を周遊することで、空き家を改装した実例、地域の課題と解決方法などを、広く知っていただく機会となった。



・あずま百樹園・キャンパスコモンを活用した事業
⇒地域と大学の交流の場であるあずま百樹園では、夏まつりや春のキャンパスコモンイベントを開催した。賑わい創出に加え、エリアリノベーションの取組事例の周知なども実施し、文花・京島地域の活性化に向け、毎年度実施することとしている。